

## 公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

### 第 49 回 CPD 講演会（九州本部 CPD・建設系 CPD 登録済）

(1) 13:30~15:00 九州本部 2602072801A1-1

『未来につなぐ 日々の風景』

尾野 薫氏（宮崎大学地域資源創成学部）

(2) 15:10~16:40 九州本部 2602072802A1-1

「画像は見る時代から、読み解く時代へ：AI による視覚データの進化」

松田翔太氏（第一工科大学工学部情報・AI・データサイエンス学科）

日 時：2026 年 2 月 7 日（土） 13:30~16:40（途中休憩 10 分）

会 場：鹿児島市勤労者交流センター 7F 第 1 会議室

（よかセンター：JR 鹿児島中央駅前）

会 費：日本技術士会会員 1,000 円

非会員 1,500 円

大学生・高専課程生 無料

CPD 単位：3.0 単位

定 員：60 名（先着順） ※事前予約者のみ参加できます。

：20 名（オンライン：鹿児島市以外に在住会員。県外も可）

※参加確定者には、2 月 2 日（月）に参加案内及び注意事項をメール配信

オンライン配信については、都合により中止する場合があります。

申し込み締め切り 1 月 30 日（金）正午

※申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

受講証明書について

※**受講証明書は、すべての講演を受講された方にのみ発行**します。

本 CPD 講演会は、【建設系 CPD 協議会】認定プログラムです。

※他学協会の受講証明書を希望の方は、申込みフォームに

【申請者情報：会員番号】を入力してください。

## 【 第 49 回 CPD 講演会等申込み先 URL 】

鹿児島県支部 HP、下記 URL、または  
下記 QR コードから申込んでください。

<https://forms.gle/n1dGtRdCHS7EP5cB8>



## 意見交換会

日 時：同日 17:30～19:30

場 所：後日連絡予定

対 象：会員のみ

会 費：5,000 円程度

参加希望の会員は、上記申込フォームからお願いします。

次ページに【講演概要】があります。

## 講演概要

### ■講演（１）

講演タイトル：「未来につなぐ 日々の風景」

講師：尾野 薫氏（宮崎大学地域資源創成学部）

講演概要：

津波災害などの防災対策にあたっては、防災施設の整備という視点だけでなく、人口減少下における将来的な都市像、市街地のコンパクト化、交通計画など今日的な町の課題を同時に解決していくという視点を踏まえた対策が求められている。日常の風景の中には、災害などで失って初めてその価値に気がつく風景もあり、地域で守りたい風景をどのようにして、未来につないでいくのかなどの視点を踏まえた検討も必要になってくる。

講演では、これら課題解決に向けた方針・提言などについて、風景論、景観工学の研究者の立場から講演いただくものである。

演者は、「津波に対する海岸保全施設整備計画のための技術ガイドライン」（土木学会減災アセスメント小委員会）において、分担執筆者として参画しており、これら課題における専門的な立場での提言は、建設部門だけでなく多くの技術者に資する内容と考える。

キーワード： 風景, 景観, 日常, 地域資源, 防災・減災

### ■講演（２）

講演タイトル：「画像は見る時代から、読み解く時代へ：AIによる視覚データの進化」

講師：松田翔太氏（第一工科大学工学部情報・AI・データサイエンス学科）

講演概要：

AIと画像処理の発展により、画像から“意味”を読み取る技術が実用段階に入りつつあります。本講演では、特に物体検知とセグメンテーション技術に焦点を当て、画像内の物体や領域を画素単位で分類・可視化する仕組みとその応用について解説します。建築や医療など、幅広い分野で活用が進む本技術は、従来の目視確認や経験則に依存した判断を支援し、より客観的で高精度な業務遂行を可能にします。講演では、非専門家にも理解しやすいよう視覚的なデモを交えながら、AIがどのように画像を“理解”するのかを紹介し、現場導入時の課題や無料ツールの活用方法にも触れます。視覚データの価値を再発見し、業務や研究への応用の可能性を考える機会とします。

キーワード： 画像処理、セグメンテーション、AI